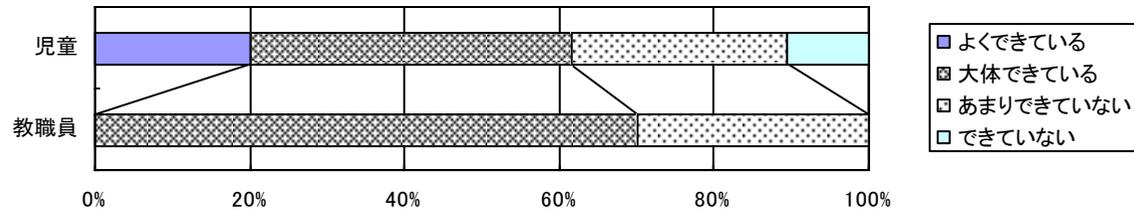


◎児童・保護者・教職員へのアンケートをそれぞれ関連する項目ごとに比較し、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の3つの重点から、特徴的な項目について分析・考察をしました。

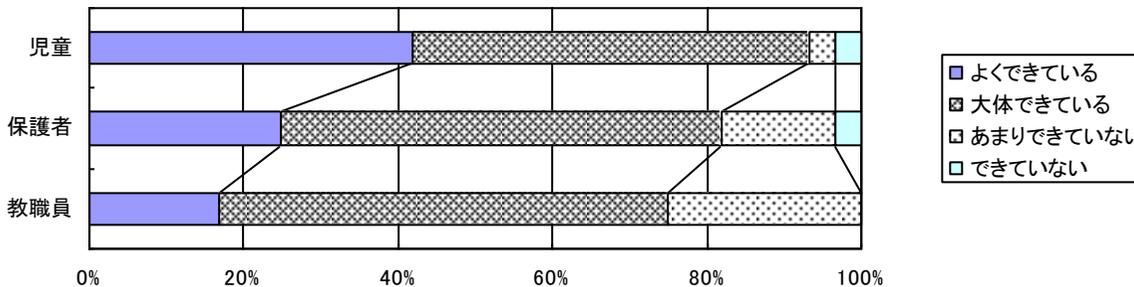
① 確かな学力の育成に関わる内容

- ・学校では自分の思いや考えを安心して発表することができる。(児童アンケート項目)
- ・学習中に自分のおもいや考えを表現できる場を設定している。(教職員アンケート項目)



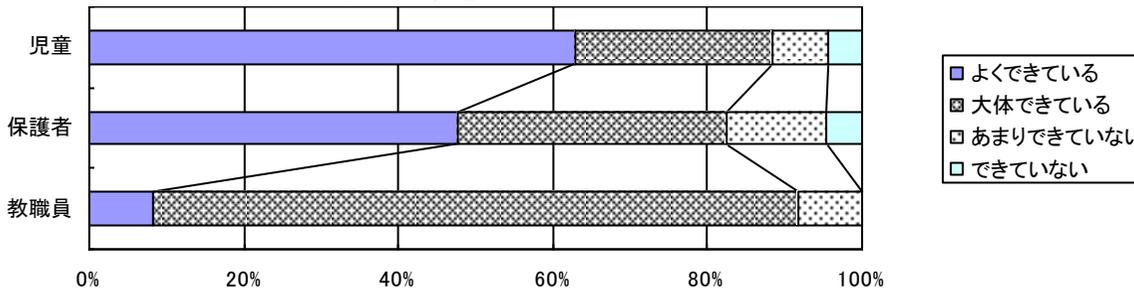
② 豊かな心の育成に関わる内容

- ・いつも人への思いやりや感謝の気持ちを大切にしている。(児童アンケート項目)
- ・お子さんは、人への思いやりや感謝の気持ちを言葉や行動で表している。(保護者アンケート項目)
- ・子どもたちは、人への思いやりや感謝の気持ちを言葉や行動で表している。(教職員アンケート項目)



③ 健やかな体の育成に関わる内容

- ・外で元気に遊んだり体を動かしたりしている。(児童アンケート項目)
- ・お子さんは、外で元気に遊んだり体を動かしたりしている。(保護者アンケート項目)
- ・子どもたちが外で元気に遊んだり体を動かしたりできるように取り組んでいる。(教職員アンケート項目)



◇児童アンケートでは、「外で元気に遊ぶ…」先生や友だちと一緒に学習…楽しい」「楽しく学校に通っている」の項目において実現度が高く、喜ばしい結果でした。

①確かな学力の育成に関わる「自分の思いや考えを…」の項目では、4割近くの児童があまりできていないと答えています。また教職員の3割がそのような場の設定ができていないと答えています。学校生活の基本である学習の工夫・改善、そして自分を表現できる機会や場を保障し、楽しく学習を進められるよう見直し、取り組んでいきたいと考えます。

②豊かな心の育成に関わる「人への思いやりや感謝…」の項目では、9割近くの子どもの「よくできている・大体できている」と答えています。教職員のアンケートでは、「できていない」の回答が3割近くあります。頭では理解していても学校生活の中では行動や言動に表れにくい、表現することが難しいと考えられます。今後も温かい雰囲気づくりや人間関係づくりに取り組み、ご家庭との連携を深め、あたたかい学校風土を作っていきたいと思えます。

③健やかな体の育成に関わる「外で元気に…」の項目では、9割近くの児童が「よくできている・大体できている」と答えています。できていないと回答する子どももいますが、校区内に遊ぶ環境が少ないことを考えると子どもたちはよく体を動かしたり遊んだりしていることが分かります。

【学校関係者評価】10月22日に第2回運営協議会総会を行いました。

- ・教職員の評価が低い、目指すところが高いのでしょうか。
- ・「気軽に相談」について、安全第1であるが、インターホンを押して入って行かなくてはいけないので、少し抵抗があり敷居が高いという印象があります。相談したい場合も、子どもの様子を見て判断していることがあります。→学校として何でも気軽に相談できるように努力をしていきたいと思えます。
- ・アンケート結果の表が見やすくなりました。
- ・「挨拶」「学校のきまりを守る」は、昨年と比べてどうでしょうか。→分析の仕方が昨年度とは違うが、昨年度は、どちらも8割近くの子どもの「よくできている・大体できている」と結果でした。子どもたちは、意識をして取り組んでいると思いますが、実際の行動を見るとまだまだ取組を進めることができていると考えています。
- * 学校評価アンケート以外にも各部会から取組をお聞かせいただきました。「教育環境整備部会」からは、グリーンベルト掃除のお礼の言葉をいただきました。「安心・安全部会」では、やりがいのある見守り活動になるように、また「教育活動支援部会」では、図書室の週2回の朝本の貸し出し・図書室の環境整備や本の整理・読み語りに取り組み、今後も本に親しむ企画を考えてみたい、というお話でした。

【保護者アンケートの記述欄より】 (まとめた形で載せさせていただいています。)

～お互いを認め高め合う子どもの育成に向けて、ご家庭で大切にされていること～

- ・自分が言われて嫌なことやされて嫌なことは人にもしないように言い聞かせている。
- ・相手の立場やきもちを考え、発言、行動することを何かある度に話している。そのことを子どもに伝えることが難しい。常に優しい心を忘れないように話している。
- ・友だち、他人の自分の考えが違っても認めて尊重するように日々の生活の中でそれとなく話している。
- ・相手の目を見て最後まで話を聞くこと。人の意見を聞き、考え、自分の意見も自分の言葉で言うこと。
- ・挨拶をすること。心を込めて謝ること。「ありがとう」「ごめんね」を素直に伝えることができるように話している。なかなか大きな声では言えないが粘り強く伝えていくつもりです。
- ・背のびをせず、卑下することなく、今の姿を自らがよく見て感じ、失敗してもくじけず、成功してもおごらない姿勢を大人が示すことができるよう努力すること。
- ・友だちとのトラブルの話聞いた時は、対処の仕方考えさせる。友だちの場合は、自分ならどうするかを考えさせ、人を思いやる気持ちをもてるように話をしている。誰でも、長所と短所があるので「人の良いところを見つけて仲良くできるといいね。見習うといいね。」と話している。
- ・気の合わない子どもがいても、その子の良いところを探させるようにしている。傷ついたと思っても自分も何か悪いことをしていないか考えさせるようにしている。
- ・嫌なことをされて気分悪く帰ってきた時、自分も友だちにそんな気分になるようなことはいけないね」と教えている。そして、自分の子どももしていないか確認するようにしている。
- ・親から子への一方通行にならないように子どもが考えを話したりできる機会をつくる。学校での出来事など時間をかけて話し合うようにしている。
- ・理屈ではなく、善悪をしっかりと教える。 ・嘘をつかない。
- ・子どもの好きなものを認め、否定しない。
- ・自分でできることは自分でするように働きかける。
- ・親以外の人とのかわりを大事にしていきたい。